

球磨工業高校 教務だより 9月号

「技を磨く」

令和3年(2021年)9月22日発行



9月16日から就職試験が始まっています。毎年のことですが、3年生の緊張しながらも自信あふれる眼差しには頼もしさがあり、球磨工業高校での成長を実感できる瞬間です。積み重ねてきた学びを、一杯発揮して欲しいと願うばかりです。1・2年生にも、この緊張感が伝わっているでしょうか。

さて、今月のテーマは「技を磨く」です。実習系科目における「ものづくり」では多様な技を身につけます。どんな人でも初めから上手にできることはなく、初心者からスタートします。技を身につけるためには、失敗ながらも練習を積み重ねる中で、小さな違いに気づくことで技が磨かれます。違いに気づこうとせず、同じ事をただ繰り返すだけで上達する人は、ほとんどいません。逆に、頭でばかり考えて練習をほとんどしない人も、上達しません。地道な練習や作業を何度でも、何万回でも繰り返し、上達することを心から願い考え抜くうちに、「これだ!」というコツのようなものをつかみ取る瞬間がきます。そのコツが何だったのか忘れないように、ノートに言葉で記し、身体に染みつかせるためにまた繰り返すのです。技を磨くには、薄い紙を積み重ねるように少しずつ成長して、振り返りながらイメージして言葉にすることで、積み重ねたものに自分で意味づけしてください。

下手糞の上級者への道のりは己が下手さを知りて一歩目

機械科・野球部顧問 飯星 宏則

本校の野球部に入部してくる生徒を見て、今年で7年目となります。以前、中学時代3番手投手で登板機会の少ない生徒が入部してきました。エースピッチャーと、2番手で投げていた子は野球の実力を買われ、他校へ進んでいきました。入部したときは、周りの練習について行けず、涙を流しながら練習していたのを覚えています。

1年生の終わり頃、「後輩が入ってくるのにそれぐらいの練習しかできないのか」と怒鳴りつけました。2年生の夏の大会ではもう一人の同級生に背番号を奪われ、ベンチ入りすることなくスタンドから応援していました。3年生引退後、もう一度その生徒に奮起するように伝えました。それから本人が心を入れ替え、練習に臨む姿勢が変わっていきました。入部から今まで集団の後ろを走っていたところ、3年生が抜けてから責任感が芽生え、秋頃には集団を引っ張るような姿がありました。練習に励む姿勢も変わり、率先してメニューに向かっていました。自ら考え、トレーニングの意味を理解し、それを自分の投球の動きへとつなげていきました。試合でもキャッチャーも後輩が変わったことで、自分の投げたい球を主張できるようになり、自信を持って投げ込み、結果を残していきました。夏のベンチに入った選手よりよい成績を残し、着々と実力をつけていくと同時に責任感が芽生えていきました。

冬場の厳しいトレーニングにも弱音を吐くことなく、皆の先頭に立ち、チームを鼓舞し引っ張る姿勢でチームをさらなるレベルアップへと導きました。NHK旗では本校初優勝の立役者となりました。不思議なことに授業に向かう態度も自然と変わっていました。本人はどうかであったかはわかりませ

んが、野球の足を引っ張らないために勉強も頑張っていたのだと思います。

最後の夏の大会では、背番号1を背負い、エースピッチャーとして戦いに挑みました。4回戦では後にプロ野球に入団する投手を擁する高校に1人で投げ抜き、完封勝利を収めました。準決勝ではあと一歩のところまで敗れてしまいましたが、多くの大学から声をかけられ、現在では東京の大学で活躍しています。

何が言いたいかというと、この子は凄かったと言いたいわけではありません。中学時代はあまり目立たなかった子が、野球がうまくなりたいと気持ちを切り替えてから、背番号1をもらえるようになったのです。ベンチにも入れず、夏を終える子もいます。はじめは、自分はこれぐらいだからと決めつけ、限界を作っていたのが、気持ち一つで変われるのだと、逆に教えられた気がします。

スポーツだけやっているとどこかで勉強が足を引っ張ってしまう。生活態度が乱れていては、よいプレーができない。すべてのことを結びつけられる人こそが一流になれるのだと思います。この子の場合、野球がうまくなりたいと自分の実力を知ることがきっかけで、勉強面、生活面も変わっていきました。このような生徒と出会って私は誇りに思います。

勉強でも部活動でも今の実力を知り、向上心を持つことが変わるきっかけになるのではないのでしょうか。



拘る ⇔ 上達

拘る(こだわる)という言葉聞いて何を思い浮かべますか? 意味にはちょっとしたことを必要以上に気にする。物事に妥協せず、とことん追求する。といった意味があるそうです。今回言いたいのは追求する方です。建築に限らず私が知っている職人の世界にはこの言葉を大事にする人が仕事を続けられているように感じます。私は専門学校卒業後、14年間大工職を経験しました。離職の原因は体調面が主です。今でも体が万全であれば社寺建築の文化財修復や新築、住宅の増改築、新築いろんな物件を職人としてやりたいのが本音です。さて少しずれましたが技能と技術の違いは何か知っていますか? 私もよく使う言葉で間違いやすい言葉です。技能(スキル、テクニク)は伝えることが難しく経験して身につくもの、技術(テクノロジー)は方法や手段を知識として表して伝えるものだそうです。

学校では教科書やPCを使って技術を教えています。建築科では実習の時間に道具や機械、材料を使って課題を製作していますが、刃物研ぎはどうしたら上手になりますか? カナは、ノコギリの挽き方はどうしたら上手になりますか? とたまに聞かれますが、人それぞれです。今までのような生

伝統建築専攻科 岩永 憲和

徒を見てきましたがものづくりが好きな人、道具が好きな人、刃物を研ぐのが好きな人それぞれで入り口は違うけど好きなものができればそれだけでなく他のもの知りたいと思うようになります。そして道具や機械を扱う時、作業する時の姿勢に拘りをもって作業するようになると上達し、楽しくなり更に拘りを持つようになります。私の仕事は建築に興味を持たせることと環境整備が主です。

当初テーマが「技を磨く」について書く予定でしたが私自身、技術や技能がまだまだ未熟で知りたいこと、やりたいことがいっぱいあります。説明を文章にするには難しいですが一つだけ。のこぎりで木材を切る時のコツは①姿勢を正して木材を正面から見る②書いた線通りにのこぎりを動かす③力を入れずにのこぎりの重みで切る。練習して上達すると、木材の切り株にはよく見ると年輪があり、その中に濃くて細かい線が冬目、薄いところが夏目になります。冬目の方が少し硬くなります。切るときに感触の違いがわかるようになると上達している証拠です。最後に技を磨くには道具や機械を大事扱い、何回も繰り返し練習し自分に言い訳をせず拘りを持って頑張ってください。まだまだ君たちには負けませんよ。

10月 2021.October 令和3年・神無月				木/thu	金/fri	土/sat	日/sun
			23	24	25	26	
			秋分の日				
月/mon	火/tue	水/wed	木/thu	金/fri	土/sat	日/sun	
27	28	29	30	1	2	3	
	(短)	(短)					
SC(予定)				終業式(専攻科)	専攻科前期入試	第一種電気工事士筆記試験	
専攻科定期考査~30日					【全校生徒立入禁止】		
4	5	6	7	8	9	10	
体育大会予行練習	体育大会準備・設営	体育大会	体育大会予備日	SC(予定)	おくんち祭り		
				⑥キャリアパスポート作成 【体育大会&中間考査】			
11	12	13	14	15	16	17	
生徒家庭学習	始業式(専攻科)		木曜日課				
	課題研究木育班交流	中学生の保護者向け	中学生の保護者向け		マイコンカーラリー熊本大会	マイコンカーラリー熊本大会	
	第27回リスニング英語検定	高校説明会【本校会場】	高校説明会【ポッポ一館会場】		体験入学		
18	19	20	21	22	23	24	
	中間考査						
25	26	27	28	29	30	31	
(検)		(短)朝読なし					
SC(予定)	芸術鑑賞	キャリアパスポート作成【フェスタ】	SC(予定)	進路セミナー			
	後期進学公務員課外開始			(2年生③⑤⑥、1年生⑤⑥)			第29回全国高等学校ロボット競技大会